

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆名目GDP687.7兆円で過去最高 4～6月の年換算、研究開発が寄与

・内閣府が発表した4～6月期GDPは足元の成長が1年続いた場合の年率換算で前期比名目4.8%増。実額は年換算で名目687兆7182億円と過去最高。実質の個人消費や設備投資はマイナスだが、物価上昇が押し上げ。名目のプラス成長は9四半期連続。物価上昇や新型コロナウイルス禍からの経済正常化によって名目GDPは拡大基調が続く。

◆4～6月の実質GDP年率1.1%増 三四半期連続プラス

・内閣府が発表した4～6月期のGDP速報値は物価変動の影響を除いた実質の季節調整値が前期比0.3%増、年率換算で1.1%増。振るわなかった個人消費や設備投資を外需が補い、三四半期連続のプラス成長を確保。前期比での実質成長率に対する寄与度をみると、内需はマイナス0.2ポイントで三四半期ぶりのマイナスとなった。

◆7月のクレジットカード消費2.3%増 エアコン需要が堅調

・ナウキャストとJCBはクレジットカード決済額に基づく7月の消費データを発表。名目で前年同月比2.3%増えた。気温の上昇を受け、エアコンなど夏物の需要が高まった。6月は0.1%増。7月の決済額で小売りは3.5%増。台風接近による天候不順の影響があった6月のマイナス0.3%から回復。家電量販店などの機械器具小売業が8.9%増と大きく伸びた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆鋼管が4年ぶり値上がり 鋼板高の転嫁で1～4%上昇

・建材やインフラ、機械などに使う鋼管の流通価格がほぼ4年ぶりに上昇。ガス管や構造用管などの取引価格は7月比1～4%ほど高い。材料となる鋼板価格の上昇を受けた各社の値上げが進展。鋼材の値上がりが幅広い種類に広がってきた。配管用のガス管(高炉品)の東京地区の間屋仲間価格は1トン24万5000円前後。前月比1万円(4%)程度上がった。

◆東京23区に分譲マンション賃料、最高値更新 7月0.8%高

・不動産調査会社の東京カンテイが発表した7月の分譲マンション賃料は、東京23区が前月比0.8%高の1平方メートルあたり5157円だった。2カ月連続で上昇し、調査を開始した2004年1月以降の最高値を5カ月ぶりに更新した。分譲マンションの賃料は、住戸を持ち主が貸し出す際に設定する。

◆積水化学、ペロブスカイト電池で先行 市場は「国策」からの自立待つ

・政府が成長戦略の重点分野の一つに掲げるペロブスカイト太陽電池で積水化学工業が先行。国内競合に先駆けて3月に販売を始め、政府の支援を受けて量産体制を整える。補助金がなくても利益を出せる事業になるか、市場は見極めようとしている。フィルム型ペロブスカイト太陽電池は厚さ約1mm、重量は1㎡当たり1kgと従来のシリコン型に比べ薄く軽い。

《 注目商品 》

■コイズミ照明 準耐火構造に対応する調光調色ダウンライト

・やわらかなグラデーションの光が天井になじみ、建築の美しさを引き立てる「arkia」ダウンライトシリーズに、準耐火構造に対応する調光調色タイプの6機種を新たにラインアップ。光が均一に広がる拡散タイプと、配光を制御する中角タイプの2種類。



■ウッドワン、木のキッチンにオーク突板の扉を追加

・ニュージープイン、オーク、メープル、ウォールナット、桧の5樹種の無垢の木で展開してきたキッチンに初めてオーク突板の扉をラインナップ。キッチンを調理場だけではなく、リビング・ダイニングの「空間の背景」とするためのアイテムで、ウレタン塗装を施すことで、汚れや水に強い。



■静音設計+高出力電池のインパクトドライバ

・HiKOKIから「コードレス静音インパクトドライバ WHP12DB」を発売した作業音を70dBに抑える静音設計により、住宅街や室内での締付け作業に対応。タブレスセル電池の採用により従来と比べて約1.4倍の最大出力を実現し、約30分の急速充電を可能に。

